[王将社長射殺](http://mainichi.jp/ch141257020i/%E7%8E%8B%E5%B0%86%E7%A4%BE%E9%95%B7%E5%B0%84%E6%AE%BA)

事件関与か、車押収…逃走バイクと関連捜査

中華料理店「餃子の王将」を展開する王将フードサービスの社長だった大東（おおひがし）隆行さん（当時７２歳）が２０１３年１２月、京都市山科区の本社ビル前で射殺された事件で、事件に関わったとみられる軽乗用車を京都府警が押収していたことが捜査関係者への取材で分かった。府警は車内を検証し、事件解明につながる手掛かりがないか調べる。

　事件は１３年１２月１９日早朝に発生した。捜査関係者によると、約４カ月後、現場の北東２キロにある山科区のアパート駐輪場にあった盗難バイクのハンドルから、銃を撃った際に残る硝煙反応が検出された。バイクは１３年１０月に京都府城陽市で盗まれており、府警は犯人が逃走に使った可能性が高いとみている。

　アパート駐輪場の近くからは、京都市伏見区の飲食店で同じ日に盗まれた原付きスクーターも見つかった。城陽市で盗まれたナンバープレートが取り付けられていたという。

　一方、軽乗用車はこのスクーターと共に、飲食店の防犯カメラに映っていた。車から降りた人物がスクーターに乗り換え、一緒に走り去る様子が確認できるという。

　車は数日後に九州の空港に移動したことが確認されている。殺害現場付近に残されたたばこの吸い殻からは、福岡県に住む暴力団組員のものと一致するＤＮＡ型が検出されており、府警は車に乗っていた人物の特定などを進める。